

令和 6 年度 宮崎県ヤングケアラーの実態に関する調査 報告書

概 要 版



目次

I. 調査の概要	1
II. 調査の結果	2
1. あなたご自身について(基本属性)	2
2. 「ヤングケアラー」について	3
3. 設問間クロス集計	12

令和 7 年 3 月
宮崎県

I. 調査の概要

1. 調査の目的

県民向けにヤングケアラーに関する調査を実施し、今後の支援施策等の検討を行う基礎資料とともに、ヤングケアラーの広報啓発を図り、本県のヤングケアラー支援を推進するために実施した。

2. 調査対象および調査方法

- ◆対象者：無作為抽出した、満18歳以上の県民 7,500人
- ◆調査方法：対象者へ郵送での発送を行い、郵送での回収または調査票へQRコード及びURLを掲載しWEBによる回答方法で行った。

3. 調査期間

令和6年12月13日(金)～令和7年1月13日(月)

4. 有効回収票

有効回収数 2,031件(有効回収率 27.1%)
内訳…調査票返送件数:1,467件、WEB 回答件数:564件

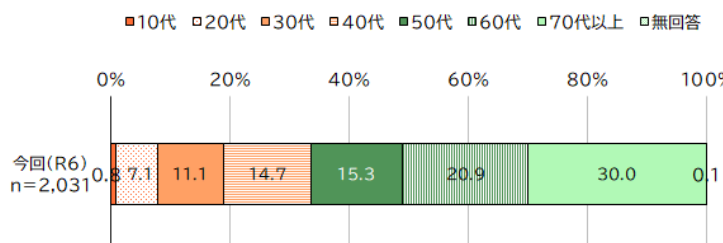
5. 報告書概要版の見方

- ・回答比率(相対度数)は、百分比のポイント以下2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にならないことがある。
- ・2つ以上の回答を求めた(複数回答)設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対するそれぞれの割合を示しており、その回答比率の合計は原則として100%を超える。
- ・数表に記入された「n」は、設問に対する回答者数で、比率算出上の基数(標本数)である。また、「—」は、調査内で選択肢が設定されていないものを示している。
- ・クロス集計では、無回答は除外している。
- ・文中やグラフ内の選択肢が長文の場合は簡略している箇所がある。
- ・記述を含む際の報告書のまとめについては、必要に応じて要約している場合がある。
- ・分析にあたっては、必要に応じて、令和3年12月に厚生労働省が文部科学省と連携して行った「令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業 ヤングケアラーの実態に関する調査研究」との比較も併せて行った。報告書内では、当該調査結果を「国調査」と表記する。なお、国調査は調査対象が20代から70代以上であり本調査の調査対象(18歳以上)と異なる点、調査実施時期が本調査と異なる点に注意が必要である。
- ・設問に対する回答者数(n)が少ない設問の結果については、参考程度の位置づけとする。

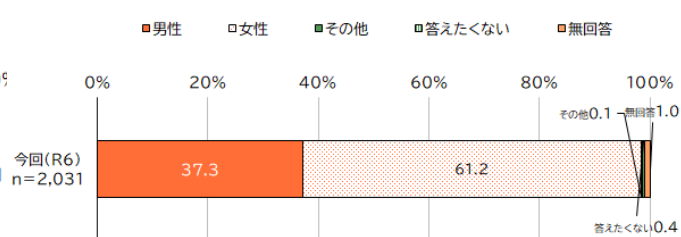
Ⅱ. 調査の結果

1. あなたご自身について(基本属性)

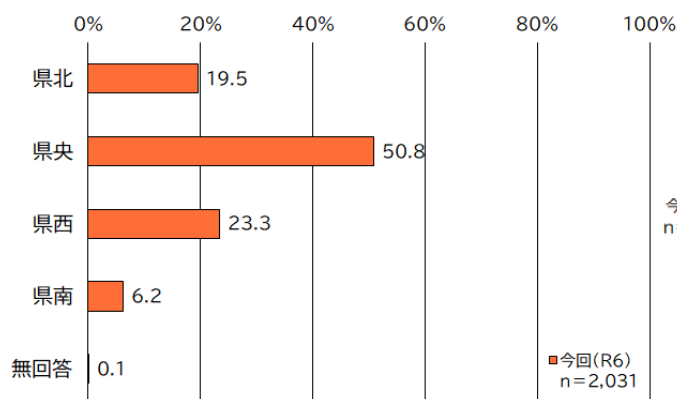
(1)年代



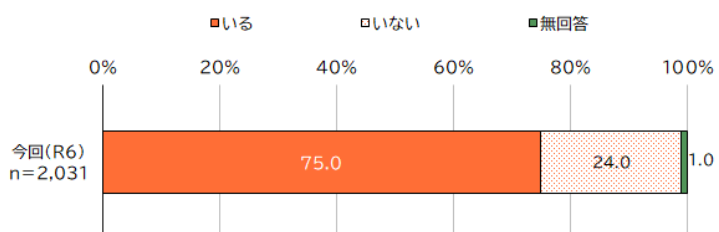
(2)性別



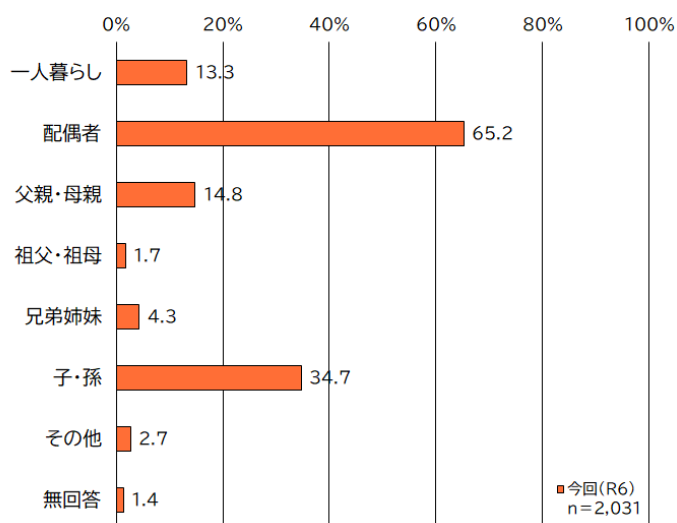
(3)居住地



(4)こどもの有無

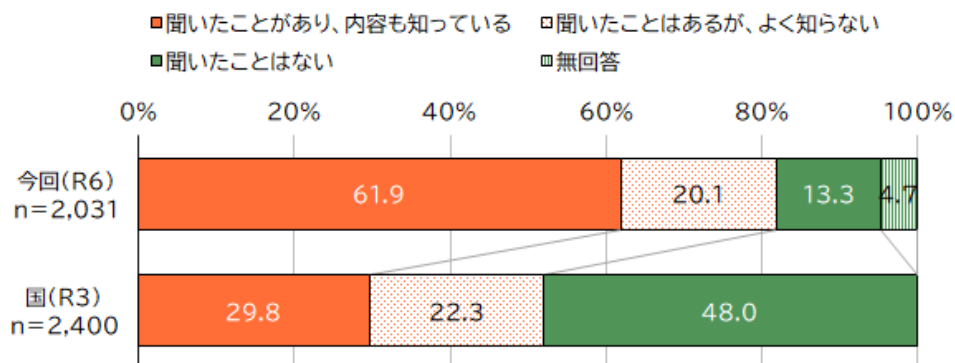


(5)同居家族



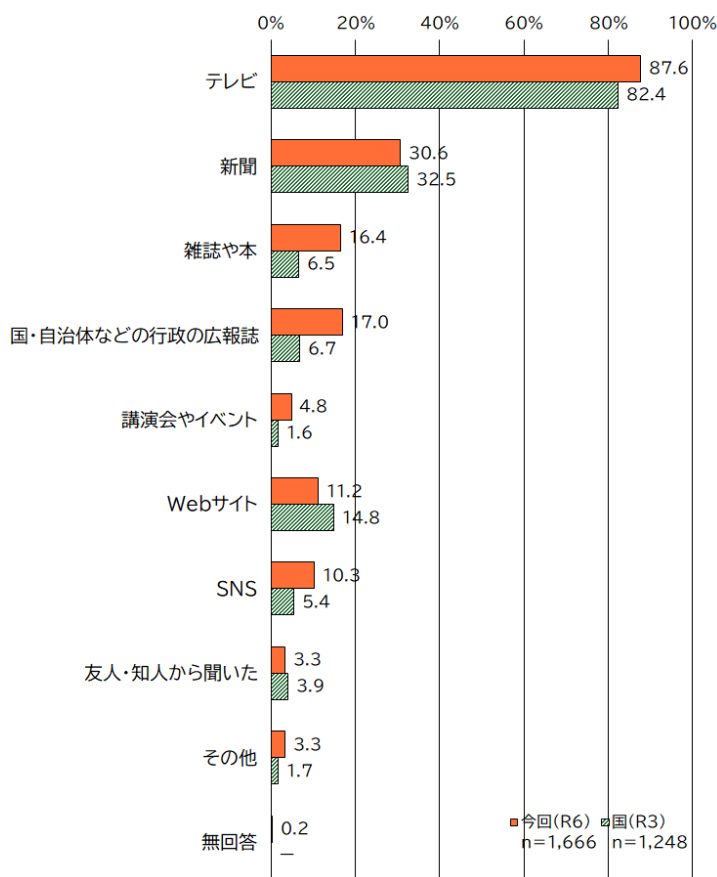
2. 「ヤングケアラー」について

(1) ヤングケアラーの認知度



ヤングケアラーという言葉について、「聞いたことがあり、内容も知っている」が61.9%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、よく知らない」が20.1%となっている。国調査と比較し、「聞いたことがあり、内容も知っている」が32.1ポイント高くなっている。本調査と国調査について調査実施時期が異なっており、近年、全国的にヤングケアラーの周知が進んでいることは、本県の認知度にも影響していると考えられる。

(2) ヤングケアラーの認知経路

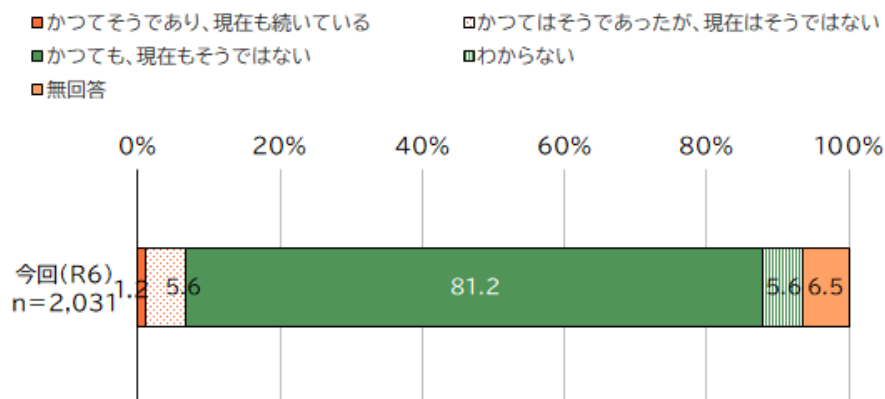


ヤングケアラーという言葉を「聞いたことがあり、内容も知っている」または「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方の認知経路は、「テレビ」が87.6%と最も高く、次いで「新聞」が30.6%、「国・自治体などの行政の広報誌」が17.0%となっている。

国調査と比較し、「雑誌や本」が9.9ポイント、「国・自治体などの行政の広報誌」が10.3ポイント高くなっている。

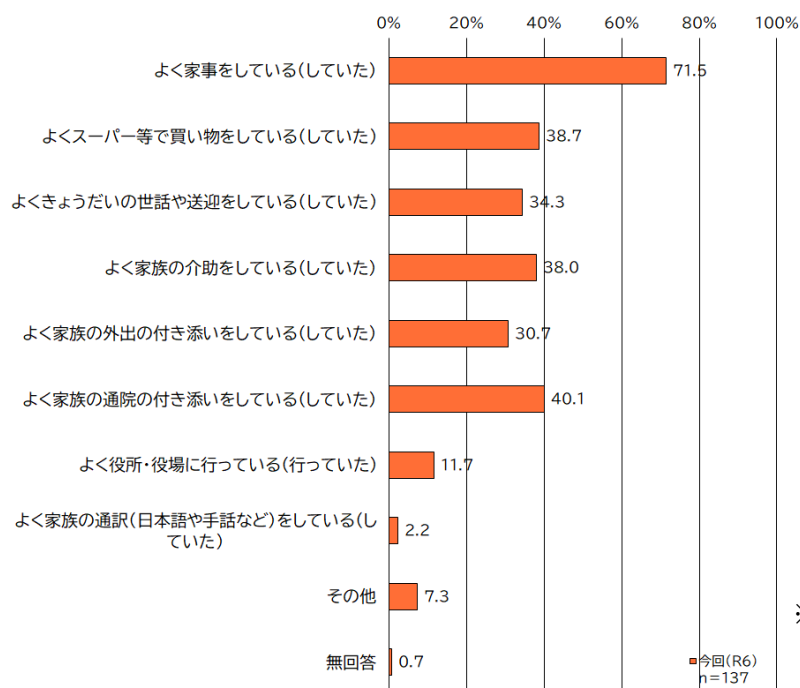
※対象者は、(1)ヤングケアラーの認知度 において、「聞いたことがあり、内容も知っている」または「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方

(3) ヤングケアラーの当事者意識



自分はヤングケアラーだと思うかについて、「かつても、現在もそうではない」が 81.2%と最も高く、次いで「かつてはそうであったが、現在はそうではない」及び「わからない」が 5.6%、「かつてそうであり、現在も続いている」が 1.2%となっている。

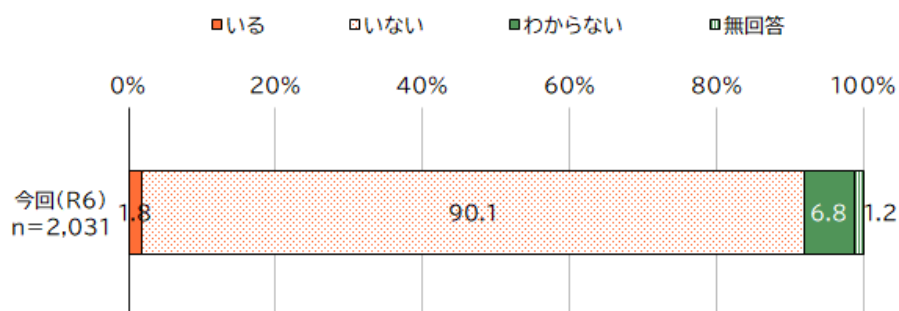
(4) ヤングケアラーの当事者意識をもった理由



自分がヤングケアラーである(だった)と思う理由について、「よく家事をしている(していた)」が 71.5%と最も高く、次いで「よく家族の通院の付き添いをしている(していた)」が 40.1%、「よくスーパー等で買い物をしている(していた)」が 38.7%となっている。

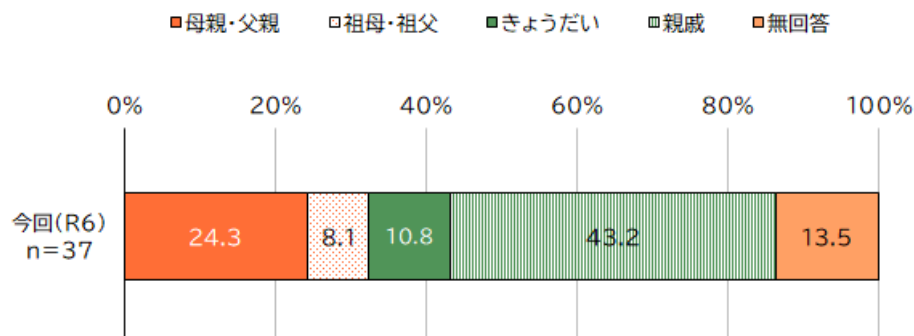
※対象者は、(3)ヤングケアラーの当事者意識 において、「かつてそうであり、現在も続いている」または「かつてはそうであったが、現在はそうではない」と回答した方

(5) 家族・親族のヤングケアラーの有無



家族・親族のヤングケアラーの有無について、「いない」が 90.1%と最も高く、次いで「わからない」が 6.8%、「いる」が 1.8%となっている。

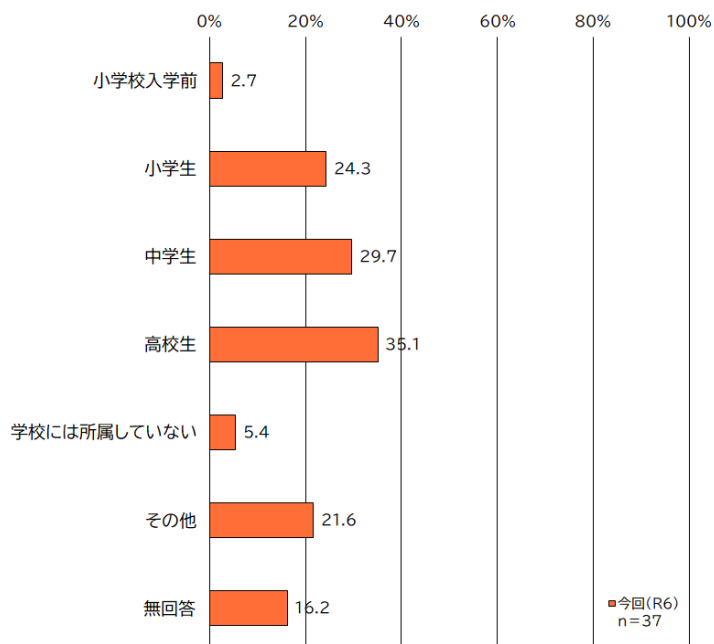
(6) ヤングケアラーと思われるこども・若者からみた回答者の続柄



ヤングケアラーからみた回答者の続柄について、「親戚」が43.2%と最も高く、次いで「母親・父親」が24.3%、「きょうだい」が10.8%となっている。

※対象者は、(5)家族・親族のヤングケアラーの有無 において、「いる」と回答した方

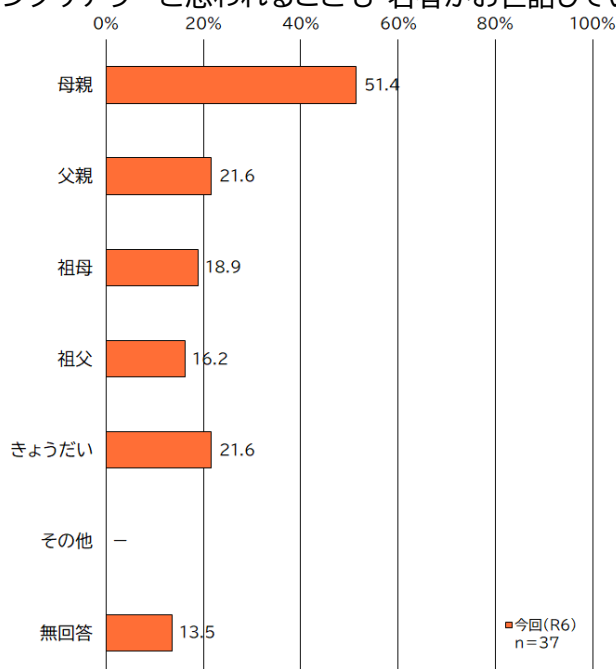
(7) ヤングケアラーと思われるこども・若者の年代



ヤングケアラーと思われるこども・若者の年代について、「高校生」が35.1%と最も高く、次いで「中学生」が29.7%、「小学生」が24.3%となっている。

※対象者は、(5)家族・親族のヤングケアラーの有無 において、「いる」と回答した方

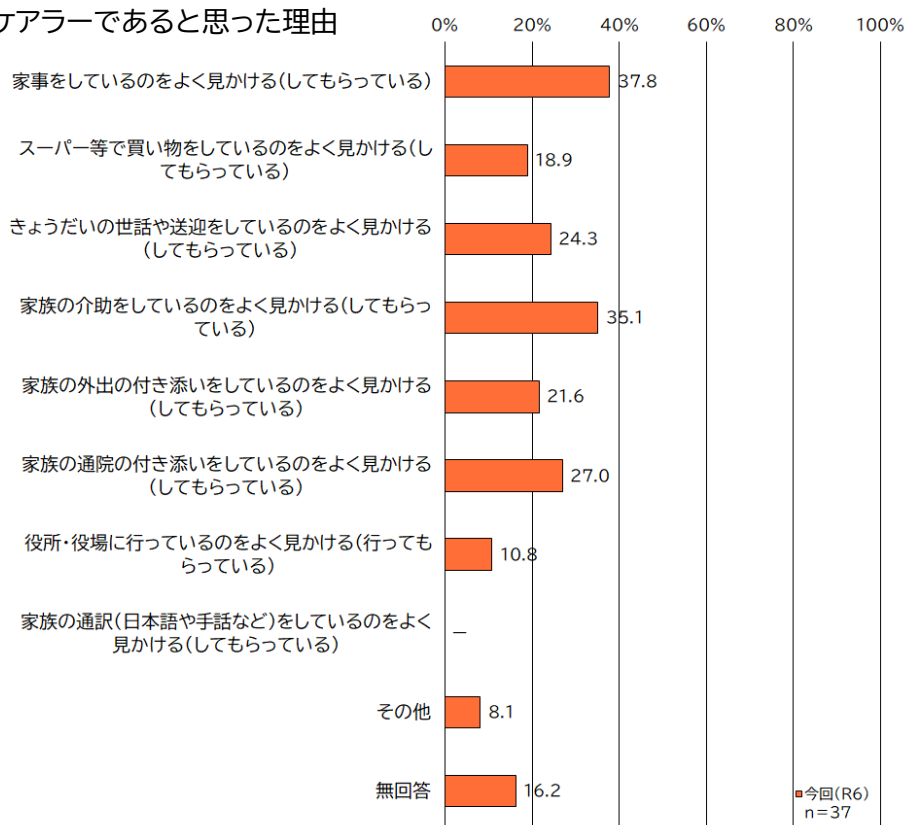
(8) ヤングケアラーと思われるこども・若者がお世話している方の続柄



ヤングケアラーと思われるこども・若者がお世話をしている方の続柄について、「母親」が51.4%と最も高く、次いで「父親」及び「きょうだい」が21.6%、「祖母」が18.9%となっている。

※対象者は、(5)家族・親族のヤングケアラーの有無 において、「いる」と回答した方

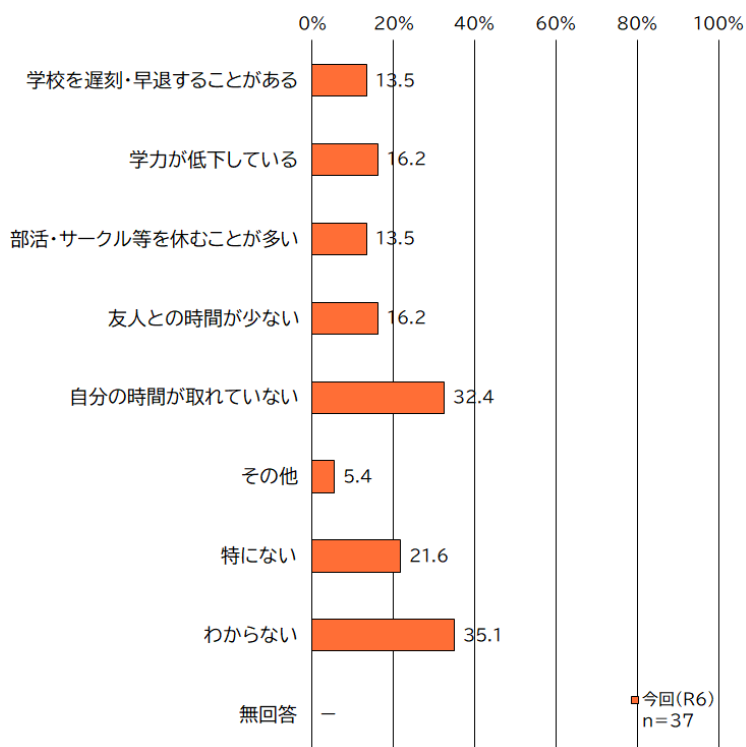
(9) ヤングケアラーであると思った理由



ヤングケアラーであると思った理由について、「家事をしているのをよく見かける(してもらっている)」が 37.8%と最も高く、次いで「家族の介助をしているのをよく見かける(してもらっている)」が 35.1%、「家族の通院の付き添いをしているのをよく見かける(してもらっている)」が 27.0%となっている。

※対象者は、(5)家族・親族のヤングケアラーの有無 において、「いる」と回答した方

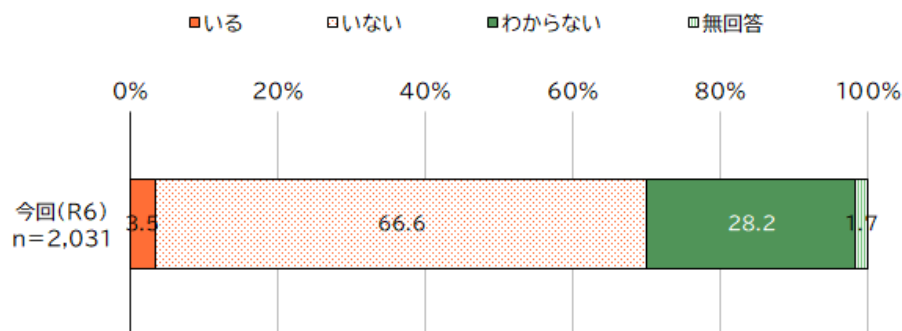
(10) ヤングケアラーと思われることも・若者について気になっていること



ヤングケアラーと思われることも・若者への気になっていることについて、「わからない」が 35.1%と最も高く、次いで「自分の時間が取れていない」が 32.4%、「特にない」が 21.6%となっている。

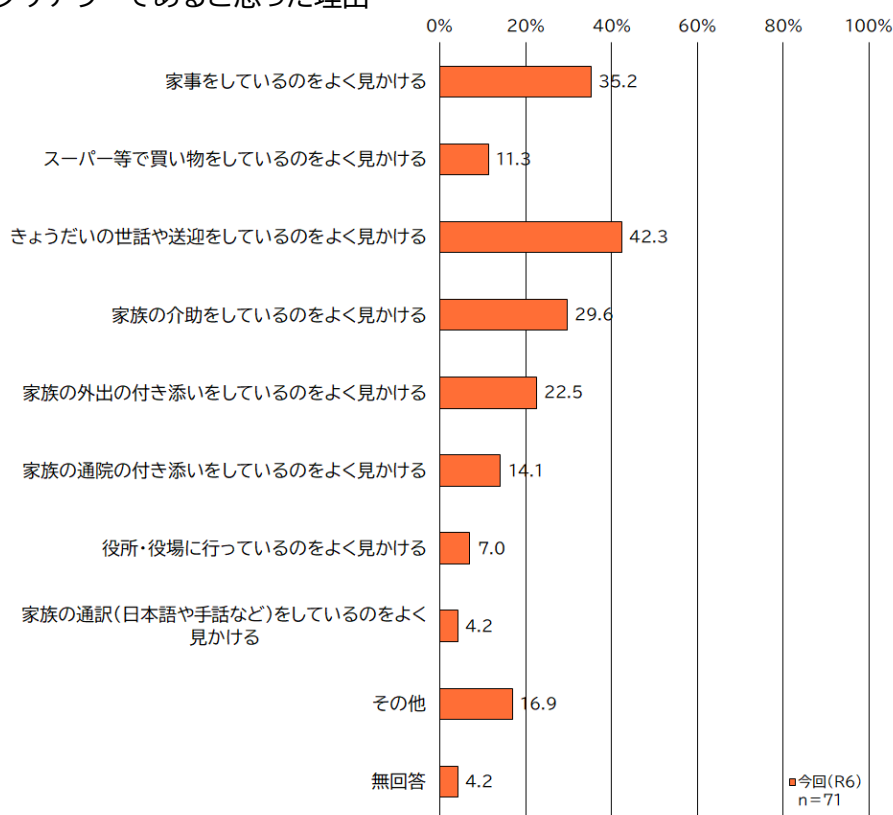
※対象者は、(5)家族・親族のヤングケアラーの有無 において、「いる」と回答した方

(11)友人、知人やそのこどもなどのヤングケアラーの有無



友人、知人やそのこどもなどのヤングケアラーの有無について、「いない」が 66.6%と最も高く、次いで「わからない」が 28.2%、「いる」が 3.5%となっている。

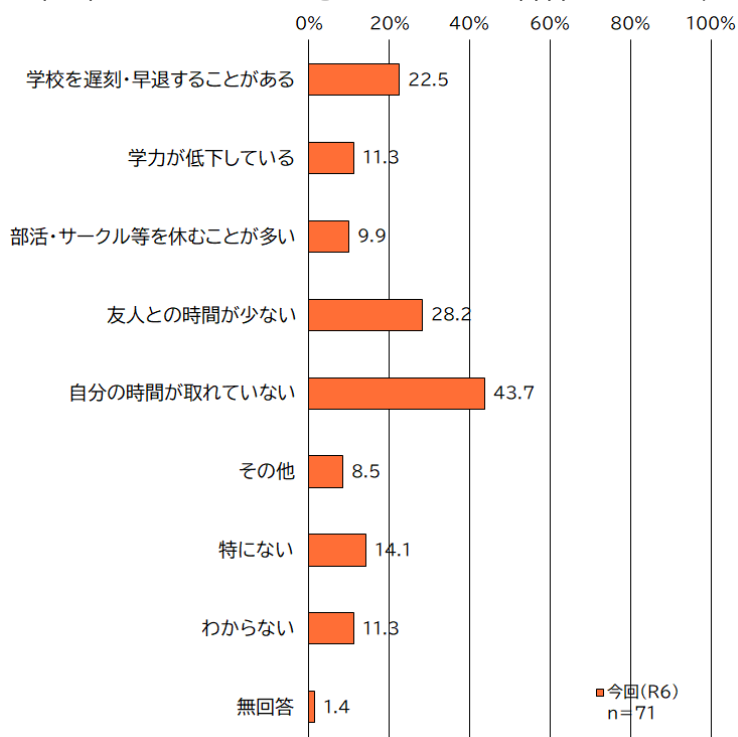
(12)ヤングケアラーであると思った理由



ヤングケアラーであると思った理由について、「きょうだいの世話や送迎をしているのをよく見かける」が 42.3%と最も高く、次いで「家事をしているのをよく見かける」が 35.2%、「家族の介助をしているのをよく見かける」が 29.6%となっている。

※対象者は、(11)友人、知人やそのこどもなどのヤングケアラーの有無 において、「いる」と回答した方

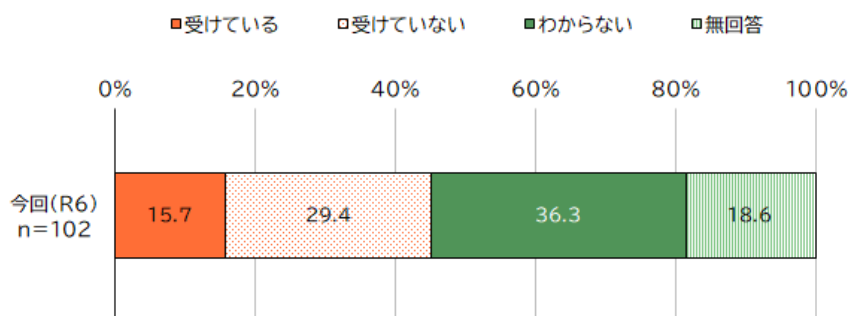
(13) ヤングケアラーと思われることも・若者について気になっていること



ヤングケアラーと思われることも・若者への気になっていることについて、「自分の時間が取れていない」が43.7%と最も高く、次いで「友人との時間が少ない」が28.2%、「学校を遅刻・早退することがある」が22.5%となっている。

※対象者は、(11)友人、知人やそのこどもなどのヤングケアラーの有無 において、「いる」と回答した方

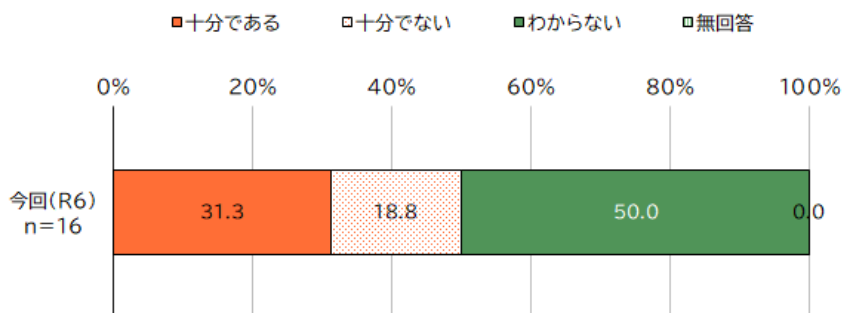
(14) ヤングケアラーと思われることも・若者に対する支援の有無



ヤングケアラーと思われることも・若者に対する支援の有無について、「わからない」が36.3%と最も高く、次いで「受けていない」が29.4%、「受けている」が15.7%となっている。

※対象者は、(5)家族・親族のヤングケアラーの有無 または (11) 友人、知人やそのこどもなどのヤングケアラーの有無 において、「いる」と回答した方

(15) ヤングケアラーと思われることも・若者に対する支援の充実性



ヤングケアラーと思われることも・若者に対する支援の充実性について、「わからない」が50.0%と最も高く、次いで「十分である」が31.3%、「十分でない」が18.8%となっている。

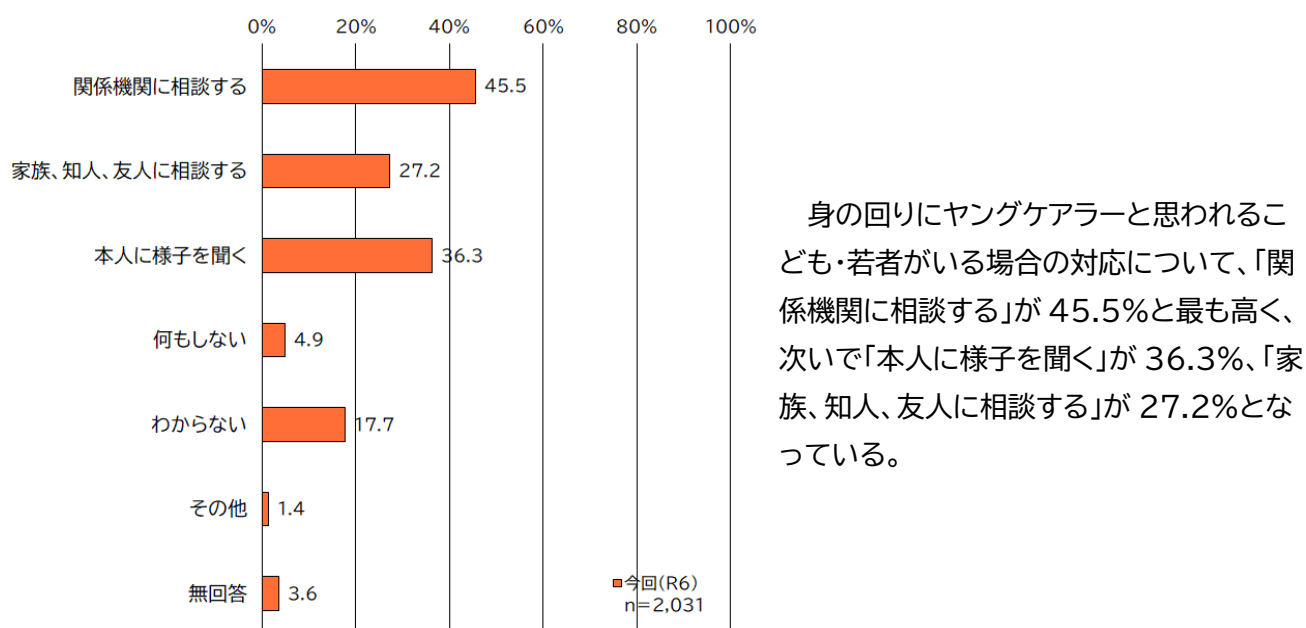
※対象者は、(14)ヤングケアラーと思われることも・若者に対する支援の有無 において、「受けている」と回答した方

(16)ヤングケアラーと思われることも・若者に対する支援が十分でない理由

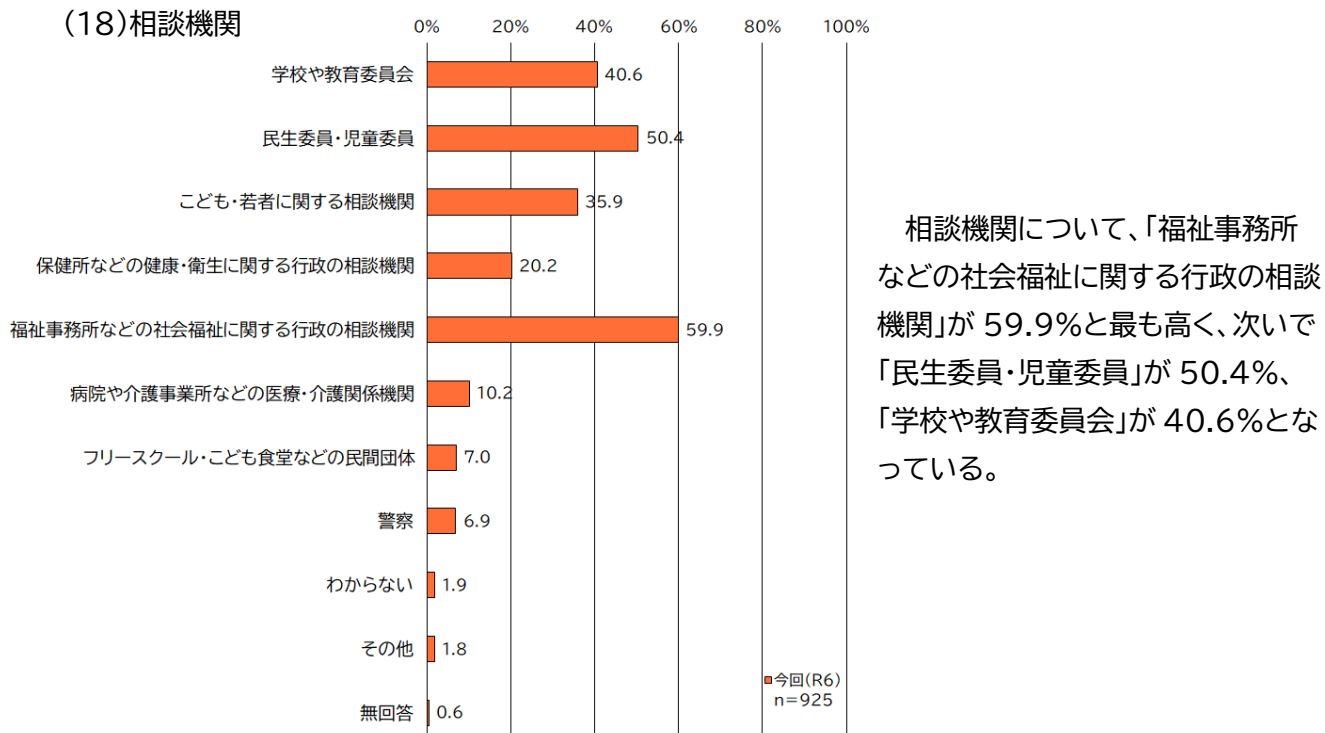
No.	支援が十分でない理由
1	・親は自分が大丈夫だと思っているし、子供に手がかかっていることをわかっていない。 ・周囲の人は他人事で大変なことをわかっていない。 ・ケアされる人は頼ってくるが、ヤングケアラーへ頼っているという自覚はない。
2	・福祉機関に関わってもらっていて、悪化はないが家庭の問題は解決につながらない。子供の状況は変わっていない。

※対象者は、(15)ヤングケアラーと思われることも・若者に対する支援の充実性 において、「十分でない」と回答した方

(17)身の回りにヤングケアラーと思われることも・若者がいる場合の対応

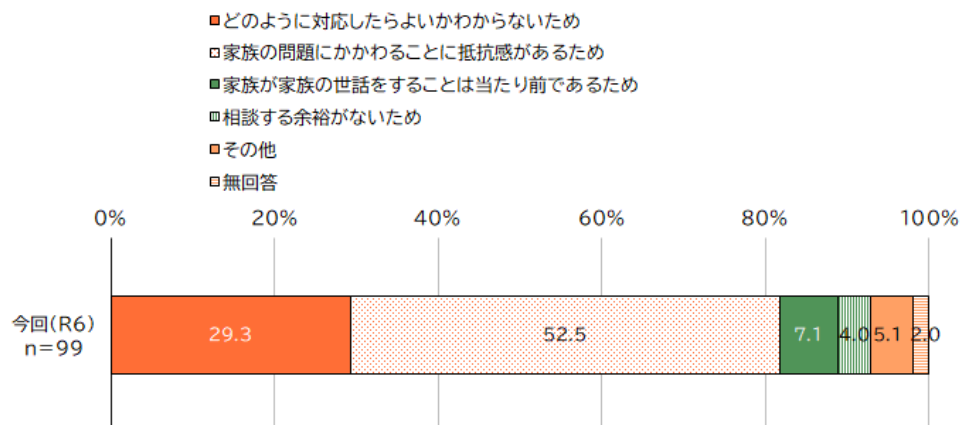


(18)相談機関



※対象者は、(17)身の回りにヤングケアラーと思われることも・若者がいる場合の対応 において、「関係機関に相談する」と回答した方

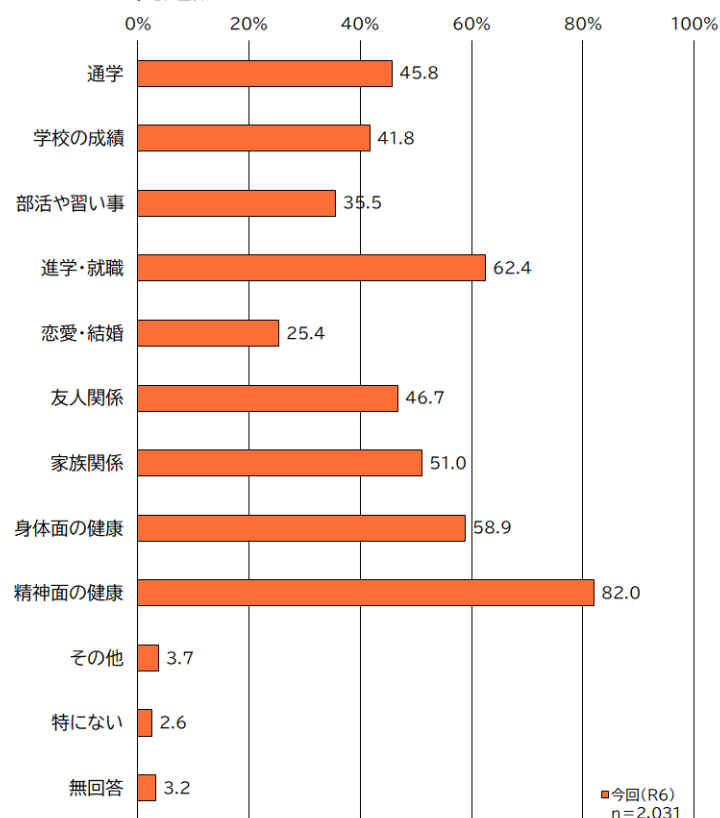
(19) ヤングケアラーと思われることも・若者への対応をしない理由



ヤングケアラーと思われることも・若者への対応をしない理由について、「家族の問題にかかわることに抵抗感があるため」が52.5%と最も高く、次いで「どのように対応したらよいかわからないため」が29.3%、「家族が家族の世話をすることは当たり前であるため」が7.1%となっている。

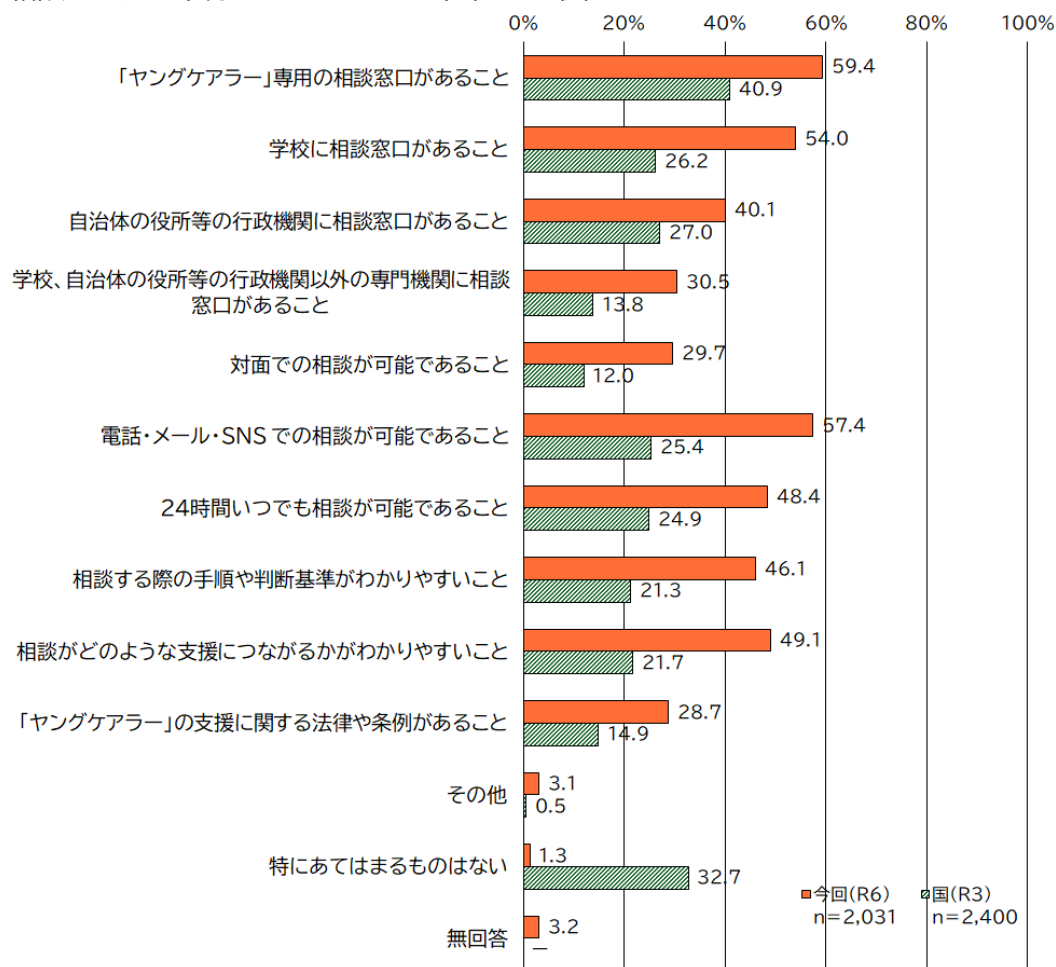
※対象者は、(17)身の回りにヤングケアラーと思われることも・若者がいる場合の対応 において、「何もしない」と回答した方

(20) ヤングケアラーについての問題点



ヤングケアラーについての問題点は、「精神面の健康」が82.0%と最も高く、次いで「進学・就職」が62.4%、「身体面の健康」が58.9%となっている。

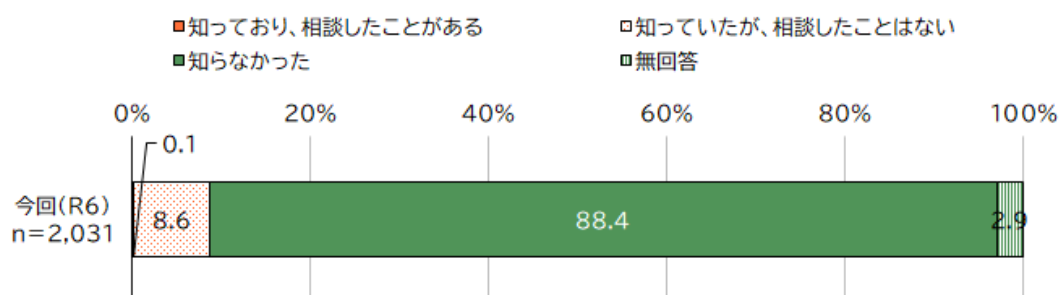
(21)相談しやすい環境づくりにつながる仕組みや取組



ヤングケアラーと思われることも・若者が相談しやすい環境づくりにつながる仕組みや取組は、「「ヤングケアラー」の専用の相談窓口があること」が59.4%と最も高く、次いで「電話・メール・SNSでの相談が可能であること」が57.4%、「学校に相談窓口があること」が54.0%となっている。

国調査と比較し、「電話・メール・SNSでの相談が可能であること」、「学校に相談窓口があること」、「相談がどのような支援につながるかがわかりやすいこと」が25.0ポイント以上高くなっている。さらに、「特にあてはまるものはない」は国調査と比較して31.4ポイント低くなっている。

(22)宮崎県子ども・若者総合相談センター「わかば」の認知度

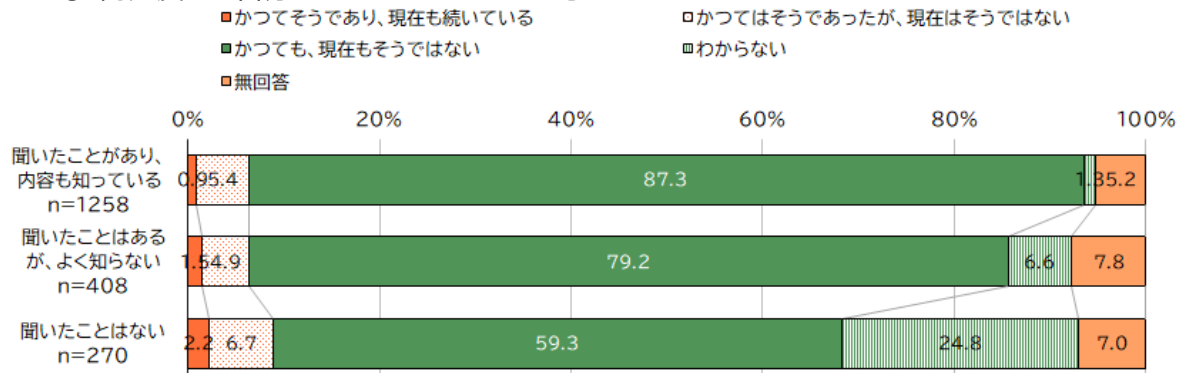


宮崎県子ども・若者総合相談センター「わかば」の認知度について、「知らなかった」が88.4%と最も高く、次いで「知っていたが、相談したことはない」が8.6%、「知っており、相談したことがある」が0.1%となっている。

3. 設問間クロス集計

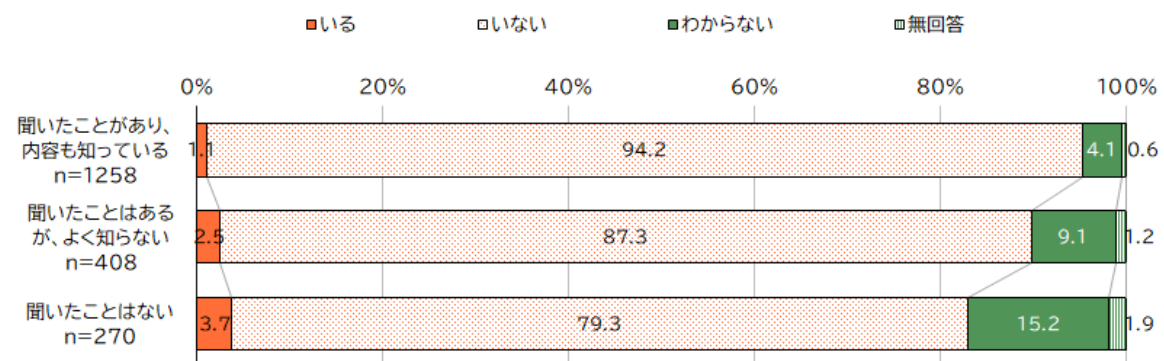
(1) ヤングケアラーの認知度

① 認知度 × 自分はヤングケアラーだと思うか



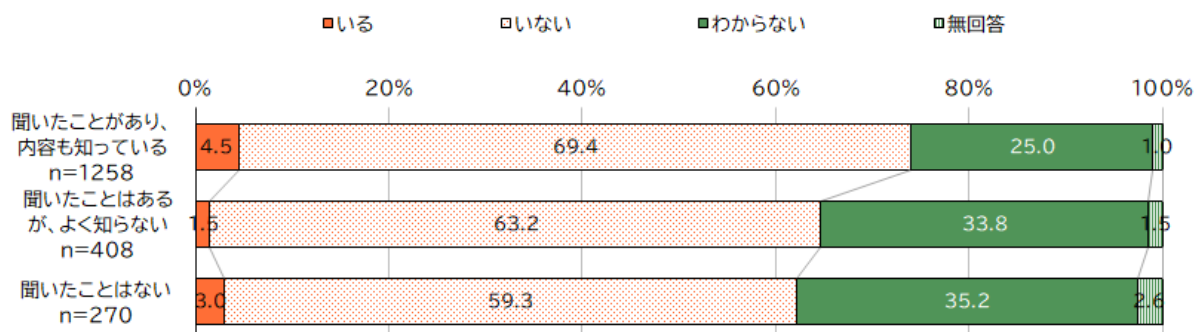
ヤングケアラーという言葉について、「聞いたことはない」と回答した方は、「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方と比べて、「わからない」と回答している割合が高く、約4分の1を占めている。

② 認知度 × 家族・親族にヤングケアラーと思われることも・若者がいるか



ヤングケアラーという言葉について、認知度が低くなるにつれて、家族・親族にヤングケアラーと思われることも・若者がいるかについて、「わからない」と回答している方の割合が高くなっており、上記「① 認知度 × 自分はヤングケアラーだと思うか」と同様である。

③ 認知度 × 友人、知人やそのこともなどにヤングケアラーと思われることも・若者がいるか



ヤングケアラーの認知度が高い場合でも、「友人、知人やそのこともなどにヤングケアラーと思われることも・若者がいるか」について、「わからない」と回答している方が4分の1を占めており、友人、知人についてはヤングケアラーの実態が把握しにくいことが懸念される。

④ 認知度 × ヤングケアラーと思われることも・若者への対応

認知度（ヤングケアラー）と関係していることと 割合（%）の対応

		調査数	ヤングケアラーがいた場合の対応							無回答
			関係機関に相談する	家族、知人、友人に相談する	本人に様子を聞く	何もしない	わからない	その他		
全体		n=2031	45.5	27.2	36.3	4.9	17.7	1.4	3.6	
認知度	聞いたことがあり、内容も知っている	n=1258	52.6	30.1	41.8	3.3	11.9	1.7	3.0	
	聞いたことはあるが、よく知らない	n=408	41.2	26.5	29.9	7.1	22.1	1.0	3.7	
	聞いたことはない	n=270	21.9	17.0	23.7	8.1	36.7	1.1	4.8	

ヤングケアラーと思われることも・若者への対応を認知度別にみると、認知度が高いほど、「わからない」の割合が低く、具体的な対応への意識が高いと考えられる。

⑤ 認知度 × ヤングケアラーについての問題点

		ヤングケアラーについての問題点													%
		調査数	通学	学校の成績	部活や習い事	進学・就職	恋愛・結婚	友人関係	家族関係	身体面の健康	精神面の健康	その他	特にない	無回答	
全体		n=2031	45.8	41.8	35.5	62.4	25.4	46.7	51.0	58.9	82.0	3.7	2.6	3.2	
認知度	聞いたことがあり、内容も知っている	n=1258	53.3	46.1	40.3	69.3	29.0	51.0	55.1	63.5	87.0	3.8	0.5	2.3	
	聞いたことはあるが、よく知らない	n=408	39.5	40.0	29.2	59.8	20.6	44.4	48.5	57.4	81.6	2.7	2.5	1.5	
	聞いたことはない	n=270	22.6	28.1	24.8	37.4	17.8	33.0	34.1	41.5	61.5	4.4	13.0	7.8	

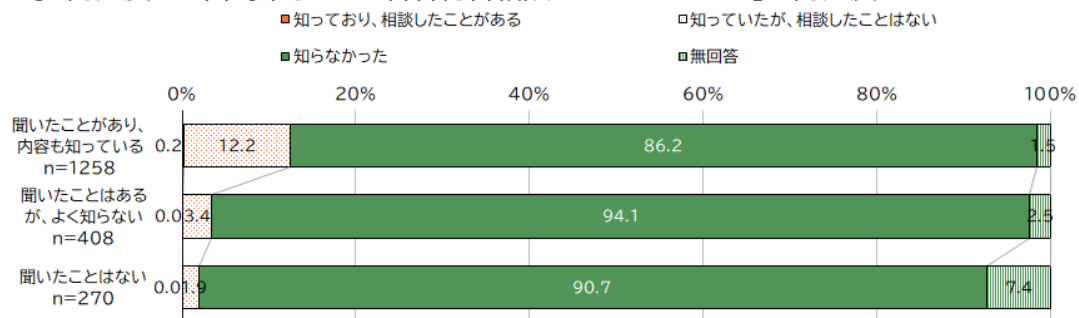
ヤングケアラーについての問題点を認知度別にみると、認知度が高いほど、各選択肢に対して回答者の割合が高くなっており、様々な側面からヤングケアラーについて問題意識をもっていることがわかる。また、ヤングケアラーという言葉について、「聞いたことがあり、内容も知っている」と回答した方のうち、ヤングケアラーについての問題点が「特にない」と回答した方は 0.5% であるのに対して、「聞いたことはない」と回答した方は 13.0% となっている。よって、認知度の底上げは、ヤングケアラーについての問題意識を高めるために有効な一つ的手段であることが考えられる。

⑥ 認知度 × 相談しやすい環境づくりにつながる仕組みや取組

			相談しやすい環境づくりにつながる仕組みや取組													%
調査数			「ヤングケアラー」専用の相談窓口があること	学校に相談窓口があること	自治体の役所等の行政機関に相談窓口があること	学校、自治体の役所等に専門機関に等しい相談窓口があること	と対面での相談が可能であること	電話・メール・SNS での相談が可能であること	24 時間いつでも相談が可能であること	相談する際の手順や判断基準がわかりやすいこと	相談がどのような支援につながるのかをわかりやすいこと	「ヤングケアラー」の支援に関する法律や条例があること	その他	特にあてはまるものはない	無回答	
全体			n=2031	59.4	54.0	40.1	30.5	29.7	57.4	48.4	46.1	49.1	28.7	3.1	1.3	3.2
認知度	聞いたことがあり、内容も知っている	n=1258	60.5	59.3	40.3	32.9	30.8	63.8	52.2	50.6	53.9	30.6	3.3	0.5	1.4	
	聞いたことはあるが、よく知らない	n=408	64.2	50.7	43.1	29.2	31.6	52.2	48.3	43.4	46.1	27.7	2.9	0.5	2.7	
	聞いたことはない	n=270	46.7	37.0	33.3	20.7	23.0	38.5	34.4	29.3	33.0	21.1	2.6	6.7	10.0	

ヤングケアラーと思われることも・若者が相談しやすい環境づくりにつながる仕組みや取組を認知度別にみると、認知度が高いほど、各選択肢に対して回答者の割合が高い傾向にある。

⑦ 認知度 × 宮崎県子ども・若者総合相談センター「わかば」の認知度



宮崎県子ども・若者総合相談センター「わかば」の認知度をヤングケアラーの認知度別にみると、ヤングケアラーの認知度が高いほど、「わかば」の認知度が高くなっている。ただし、全体として、「わかば」についての認知度は低く、ヤングケアラーという言葉について、「聞いたことはあるが、よく知らない」、「聞いたことはない」と回答した方のうち、「わかば」を認知している方は5%未満である。

(2) ヤングケアラーの当事者意識

① ヤングケアラーの当事者意識 × ヤングケアラーと思われることも・若者への対応

		調査数	ヤングケアラーがいた場合の対応							%
			関係機関に相談する	家族、知人、友人に相談する	本人に様子を聞く	何もしない	わからない	その他	無回答	
全体		n=2031	45.5	27.2	36.3	4.9	17.7	1.4	3.6	
自分はヤングケアラーだと思うか	かつてそうであり、現在も続いている	n=24	41.7	37.5	29.2	12.5	8.3	8.3	4.2	
	かつてはそうであったが、現在はそうではない	n=113	41.6	28.3	47.8	7.1	11.5	3.5	3.5	
	かつても、現在もそうではない	n=1649	47.5	29.0	38.6	4.4	16.4	1.2	2.3	
	わからない	n=114	20.2	13.2	14.0	6.1	47.4	0.9	6.1	

ヤングケアラーと思われることも・若者への対応をヤングケアラーの当事者意識別にみると、現在ヤングケアラーである方は「家族、知人、友人に相談する」と回答している割合が高く、過去ヤングケアラーであった方は「本人に様子を聞く」と回答している割合が高くなっている。

② ヤングケアラーの当事者意識 × ヤングケアラーについての問題点

		ヤングケアラーについての問題点												%
		調査数	通学	学校の成績	部活や習い事	進学・就職	恋愛・結婚	友人関係	家族関係	身体面の健康	精神面の健康	その他	特にない	無回答
全体		n=2031	45.8	41.8	35.5	62.4	25.4	46.7	51.0	58.9	82.0	3.7	2.6	3.2
自分はヤングケアラーだ と思うか	かつてそうであり、現在も続いている	n=24	37.5	25.0	33.3	54.2	29.2	33.3	58.3	33.3	75.0	12.5	4.2	0.0
	かつてはそうであったが、現在はそうではない	n=113	30.1	40.7	33.6	56.6	28.3	42.5	46.9	46.0	77.0	7.1	0.9	4.4
	かつても、現在もそうではない	n=1649	49.4	44.8	37.6	66.5	27.3	49.5	53.6	63.3	86.4	3.2	1.2	2.0
	わからない	n=114	23.7	19.3	18.4	29.8	13.2	23.7	24.6	28.1	39.5	7.9	27.2	8.8

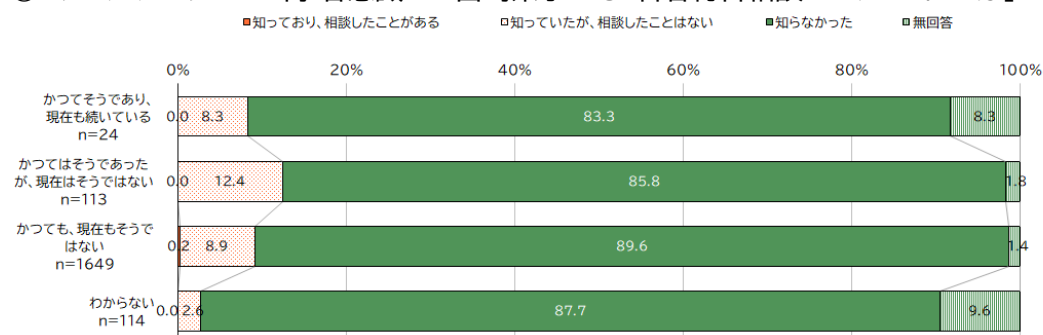
現在ヤングケアラーである方は、問題点として「精神面の健康」と回答している方が75.0%と最も高く、次いで「家族関係」が58.3%、「進学・就職」が54.2%となっている。

③ ヤングケアラーの当事者意識 × 相談しやすい環境づくりにつながる仕組みや取組

相談しやすい環境づくりにつながる仕組みや取組															%
調査数		窓口「ヤングケアラー」専用の相談	学校に相談窓口があること	自治体の役所等の行政機関に相談窓口があること	学校、自治体の役所等の行政機関に相談窓口があること	対面での相談が可能であること	電話・メール・SNSでの相談が可能であること	24時間いつでも相談が可能であること	相談する際の手順や判断基準がわかりやすいこと	相談がどのような支援につながるかがわかりやすいこと	「ヤングケアラー」の支援に関する法律や条例があること	その他	特にあてはまるものはない	無回答	
全体		n=2031	59.4	54.0	40.1	30.5	29.7	57.4	48.4	46.1	49.1	28.7	3.1	1.3	3.2
自分はヤングケアラーだと思うか	かつてそうであり、現在も続いている	n=24	45.8	41.7	41.7	20.8	29.2	37.5	45.8	29.2	41.7	41.7	16.7	0.0	12.5
	かつてはそうであったが、現在はそうではない	n=113	58.4	52.2	33.6	29.2	27.4	51.3	45.1	45.1	44.2	21.2	2.7	0.0	3.5
	かつても、現在もそうではない	n=1649	61.4	57.1	41.0	31.1	31.1	61.6	50.7	49.2	52.5	30.5	2.9	0.7	1.3
	わからない	n=114	39.5	26.3	30.7	21.1	15.8	30.7	31.6	21.1	20.2	17.5	5.3	12.3	16.7

ヤングケアラーと思われることも・若者が相談しやすい環境づくりにつながる仕組みや取組をヤングケアラーの当事者意識別にみると、現在ヤングケアラーである方は、特に「「ヤングケアラー」の支援に関する法律や条例があること」と回答している割合が全体平均より高く、より具体的かつ実態に即した支援につながる体制の重要性がうかがえる。

④ ヤングケアラーの当事者意識 × 宮崎県子ども・若者総合相談センター「わかば」の認知度



宮崎県子ども・若者総合相談センター「わかば」の認知度をヤングケアラーの当事者意識別にみると、ヤングケアラーの当事者である(であった)方について、「わかば」に相談したことがある方はいないことがわかる。また、ヤングケアラーの当事者である方でも、「わかば」について「知らなかった」と回答した方が8割を超えており、ヤングケアラーに情報が届いていない可能性があるため、アウトリーチが必要である。

(3) 家族・親族のヤングケアラーの有無

① 家族・親族のヤングケアラーの有無 × ヤングケアラーと思われることも・若者への対応

		調 査 数	ヤングケアラーがいた場合の対応							%
			関 係 機 関 に 相 談 す る	家 族 ・ 知 人 ・ 友 人 に 相 談 す る	本 人 に 様 子 を 聞 く	何 も し な い	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答	
全体		n=2031	45.5	27.2	36.3	4.9	17.7	1.4	3.6	
有 無	家族・親族の ヤングケアラーの いる	n=37	37.8	18.9	37.8	13.5	13.5	5.4	8.1	
	いない	n=1830	47.0	27.4	37.4	4.9	16.6	1.3	3.1	
	わからない	n=139	30.9	29.5	26.6	0.7	36.0	1.4	3.6	

ヤングケアラーと思われることも・若者への対応を家族・親族のヤングケアラーの有無別にみると、家族・親族にヤングケアラーが「いる」と回答した方は、「関係機関に相談する」「本人に様子を聞く」が37.8%と最も高い。また、家族・親族にヤングケアラーがいるか「わからない」と回答した方は、ヤングケアラーがいた場合の対応について「わからない」が36.0%を占めており、ヤングケアラーかどうかを判断できることはヤングケアラーに対する具体的な対応に結びついていることが示唆される。

② 家族・親族のヤングケアラーの有無 × ヤングケアラーについての問題点

		ヤングケアラーについての問題点												%
		調査数	通学	学校の成績	部活や習い事	進学・就職	恋愛・結婚	友人関係	家族関係	身体面の健康	精神面の健康	その他	特にない	無回答
全体		n=2031	45.8	41.8	35.5	62.4	25.4	46.7	51.0	58.9	82.0	3.7	2.6	3.2
ヤングケアラーの有無	家族・親族のいる	n=37	16.2	24.3	27.0	43.2	21.6	29.7	35.1	32.4	73.0	2.7	8.1	5.4
	家族・親族のいない	n=1830	47.7	43.1	36.2	64.4	25.8	47.7	52.1	60.8	84.0	3.2	1.6	2.6
	家族・親族のわからない	n=139	33.8	33.1	30.9	48.2	23.7	43.2	44.6	46.8	65.5	11.5	13.7	3.6

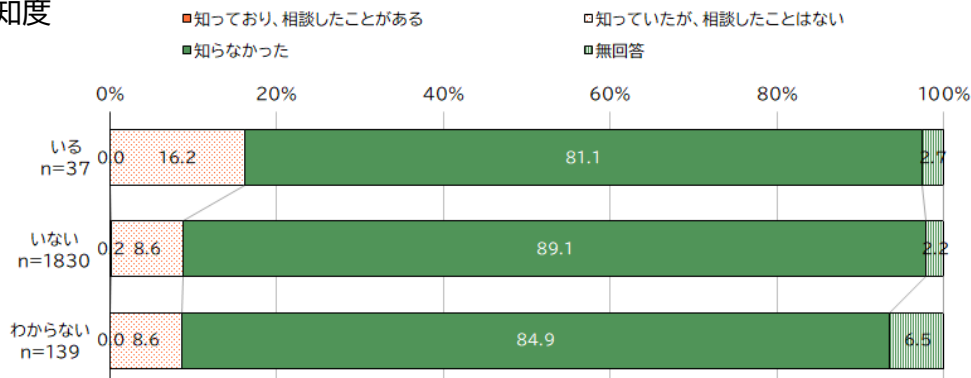
ヤングケアラーについての問題点を家族・親族のヤングケアラーの有無別にみると、家族・親族にヤングケアラーが「いる」と回答した方は、「精神面の健康」が73.0%と最も高く、次いで「進学・就職」が43.2%、「家族関係」が35.1%となっている。

③ 家族・親族のヤングケアラーの有無 × 相談しやすい環境づくりにつながる仕組みや取組

		相談しやすい環境づくりにつながる仕組みや取組														
		調査数	「ヤングケアラー」専用の相談窓口があること	学校に相談窓口があること	自治体の役所等の行政機関に相談窓口があること	学校、自治体の役所等の行政機関以外の専門機関に相談窓口があること	対面での相談が可能であること	電話・メール・SNSでの相談が可能であること	24時間いつでも相談が可能であること	わかりやすい手順や判断基準がわかること	相談がどのような支援につながるのか	「ヤングケアラー」の支援に関する法律や条例があること	その他	特にあてはまるものはない	無回答	
全体		n=2031	59.4	54.0	40.1	30.5	29.7	57.4	48.4	46.1	49.1	28.7	3.1	1.3	3.2	
有無	ヤングケアラーの家族・親族のいる	n=37	35.1	37.8	21.6	24.3	18.9	43.2	35.1	43.2	48.6	24.3	5.4	5.4	10.8	
	いない	n=1830	61.1	56.1	40.8	30.5	30.2	59.0	49.5	46.9	49.5	29.1	2.6	0.8	2.2	
	わからない	n=139	47.5	36.7	37.4	31.7	29.5	44.6	42.4	41.0	47.5	27.3	9.4	6.5	7.9	

ヤングケアラーと思われることも・若者が相談しやすい環境づくりにつながる仕組みや取組を家族・親族のヤングケアラーの有無別にみると、家族・親族にヤングケアラーが「いる」と回答した方は、「相談がどのような支援につながるかわかりやすいこと」が48.6%と最も高く、次いで「電話・メール・SNSでの相談が可能であること」、「相談する際の手順や判断基準がわかりやすいこと」が43.2%となっている。

④ 家族・親族のヤングケアラーの有無 × 宮崎県子ども・若者総合相談センター「わかば」の認知度



宮崎県子ども・若者総合相談センター「わかば」の認知度を家族・親族のヤングケアラーの有無別にみると、家族・親族にヤングケアラーが「いる」と回答した方は「いない」、「わからない」と回答した方より、「わかば」の認知度が高くなっている。

(4) 友人、知人やその子どもなどのヤングケアラーの有無

① 友人、知人やその子どもなどのヤングケアラーの有無 × ヤングケアラーと思われることも・若者への対応

者への対応		ヤングケアラーがいた場合の対応							
		調査数	関係機関に相談する	家族、知人、友人に相談する	本人に様子を聞く	何もしない	わからない	その他	無回答
全体		n=2031	45.5	27.2	36.3	4.9	17.7	1.4	3.6
友人、知人やその子どもなどのヤングケアラーの有無	いる	n=71	40.8	15.5	56.3	4.2	15.5	2.8	1.4
	いない	n=1352	48.2	28.7	37.6	5.0	15.0	1.6	2.9
	わからない	n=573	40.3	26.4	32.5	4.9	25.3	0.9	2.6

ヤングケアラーと思われることも・若者への対応を友人、知人やその子どもなどのヤングケアラーの有無別にみると、友人、知人やその子どもなどにヤングケアラーが「いる」と回答した方は、「本人に様子を聞く」が 56.3%と最も高く、友人、知人やその子どもなどにヤングケアラーが「いない」と回答した方と比べて 18.7 ポイント高くなっている。

② 友人、知人やその子どもなどのヤングケアラーの有無 × ヤングケアラーについての問題点

		ヤングケアラーについての問題点												
	調査数	通学	学校の成績	部活や習い事	進学・就職	恋愛・結婚	友人関係	家族関係	身体面の健康	精神面の健康	その他	特にない	無回答	
全体		n=2031	45.8	41.8	35.5	62.4	25.4	46.7	51.0	58.9	82.0	3.7	2.6	3.2
友人、知人、子どもなどのヤングケアラーの有無	いる	n=71	36.6	36.6	28.2	56.3	26.8	45.1	47.9	45.1	74.6	8.5	1.4	0.0
	いない	n=1352	47.0	43.0	35.5	63.6	24.9	47.0	50.7	61.2	84.0	3.5	1.5	3.0
	わからない	n=573	45.9	40.8	37.5	62.8	27.4	47.8	53.6	57.1	80.6	3.8	5.1	1.7

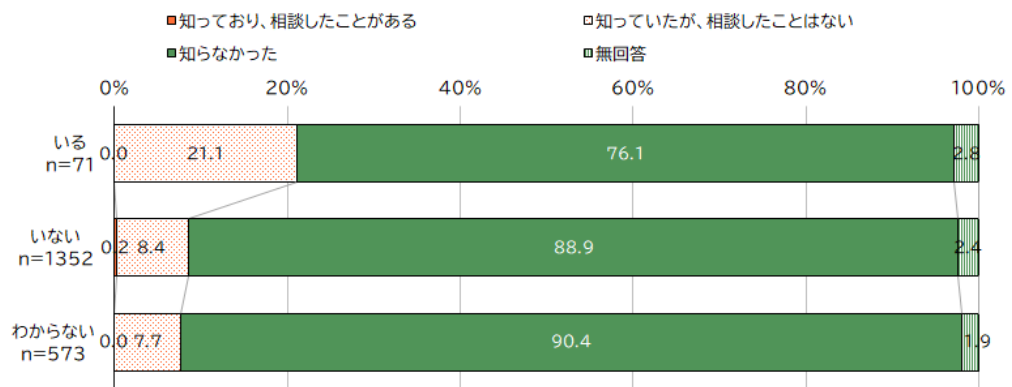
ヤングケアラーについての問題点を友人、知人やその子どもなどのヤングケアラーの有無別にみると、友人・知人やその子どもなどにヤングケアラーが「いる」と回答した方は、「精神面の健康」が 74.6%と最も高く、次いで「進学・就職」が 56.3%、「家族関係」が 47.9%となっている。

③ 友人、知人やその子どもなどのヤングケアラーの有無 × 相談しやすい環境づくりにつながる仕組みや取組

仕組みや取組			相談しやすい環境づくりにつながる仕組みや取組												無回答	
調査数			窓口「ヤングケアラー」専用の相談窓口があること	学校に相談窓口があること	自治体の役所等の行政機関に相談窓口があること	学校・自治体の役所等の行政機関以外の専門機関に相談窓口があること	対面での相談が可能であること	電話・メール・SNSでの相談が可能であること	24時間いつでも相談が可能であること	相談する際の手順や判断基準がわかりやすいこと	相談がどのような支援につながるかがわかりやすいこと	する法律や条例があること	その他	特にあてはまるものはない	無回答	
全体			n=2031	59.4	54.0	40.1	30.5	29.7	57.4	48.4	46.1	49.1	28.7	3.1	1.3	3.2
友人、知人やその子どもなどのヤングケアラーの有無を知らない	いる	n=71	45.1	49.3	33.8	25.4	25.4	52.1	42.3	39.4	42.3	28.2	8.5	1.4	4.2	
	いない	n=1352	62.3	55.4	40.8	31.3	30.1	58.2	48.8	44.7	47.6	27.8	2.6	0.7	2.3	
	わからない	n=573	56.2	53.4	40.5	29.7	30.2	58.1	50.1	52.0	55.3	31.4	3.5	2.6	3.0	

ヤングケアラーと思われることも・若者が相談しやすい環境づくりにつながる仕組みや取組を友人、知人やその子どもなどのヤングケアラーの有無別にみると、友人、知人やその子どもなどにヤングケアラーが「いる」と回答した方は、「電話・メール・SNS での相談が可能であること」が 52.1%と最も高く、次いで「学校に相談窓口があること」が 49.3%、「ヤングケアラー」専用の相談窓口があること」が 45.1%となっている。

④ 友人、知人やそのこどもなどのヤングケアラーの有無 × 宮崎県子ども・若者総合相談センター「わかば」の認知度



宮崎県子ども・若者総合相談センター「わかば」の認知度を家族・親族の友人、知人やそのこどもなどのヤングケアラーの有無別にみると、友人、知人やそのこどもなどにヤングケアラーが「いる」と回答した方は「いない」、「わからない」と回答した方より、「わかば」の認知度が高くなっている。

令和 6 年度
宮崎県ヤングケアラーの実態に関する調査
報告書

令和 7 年 3 月

編集・発行 宮崎県 福祉保健部 こども政策局こども家庭課
〒880-8501 宮崎県宮崎市橘通東 2 丁目 10 番 1 号
TEL 0985-26-7570 FAX 0985-26-3416
